

## 市民活動サポートセンターの機能強化について

## 1. これまでの経緯

平成 27 年 7 月に施行された「仙台市協働によるまちづくりの推進に関する条例」において、仙台市市民活動サポートセンター（以下、「サポセン」という。）は従来の市民活動支援の機能に加え、多様な主体の協働によるまちづくりの推進の拠点として位置づけられた。今後、さらに協働によるまちづくりを推進していくためには、多様なまちづくりの担い手が集まり、地域の課題やまちの魅力づくりに取り組んでいくための協働の拠点施設としての機能を充実させることが必要となっている。

これを受け、平成 28 年度協働まちづくり推進委員会ではアクションチームを中心にサポセンの機能強化について審議を重ねてきたほか、平成 28 年 11 月に開催した「サポセンこうなったらいいっちゃね会議」において市民からアイデアを集めるなどして、平成 29 年 2 月に機能強化の方向性とコンセプトをまとめたところである。

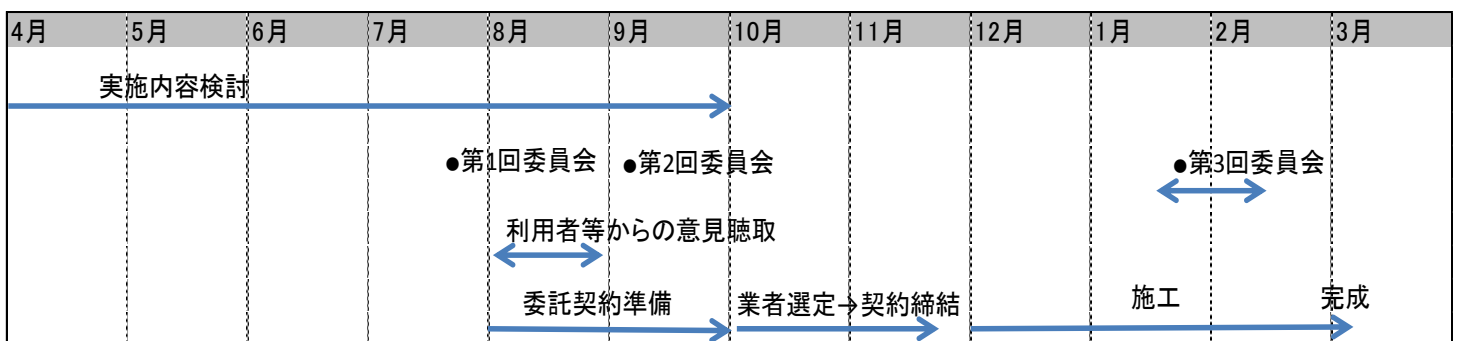
## 2. 機能強化のコンセプト

「多様なまちづくりの担い手が集い、アイデアを交え、つながりを育む場づくり」

指定管理者である（特活）せんだい・みやぎ NPO センターと連携し、交流イベントの開催や相談機能の拡充など、ソフト面での充実を目指すとともに、利用者層の拡大を図り、多様な主体が集い交流する協働の拠点施設とするため、施設自体が魅力的で利用者にとって使いやすく居心地のよい空間となるよう、ハード面での改修にも取り組む。

## 3. 実施具体案 別紙を参照。

## 4. スケジュール



## 5. 利用者等からの意見聴取

## (1) 目的

コンセプトに基づいた実施具体案に対して、市民が求めるサポセンのあり方をより高いレベルで実現するため、現在のサポセン利用者や今後サポセン利用者となりえる方を対象に意見調査を行い、実施具体案のブラッシュアップを図る。

## (2) 概要

- ・ 期間 平成 29 年 7 月下旬～8 月下旬
- ・ 対象 ユニバーサルデザイン等の観点から配慮が必要と思われる団体（福祉・子育て等）、事務用ブース利用団体、交流サロン利用団体（学生団体等）、今後サポセンを利用してほしい団体・個人（企業、町内会、イベント参加者等）
- ・ 方法 団体ごとのヒアリング、イベント参加者アンケート、利用者アンケートの見直し等
- ・ 結果 取りまとめの上、次回の協働まちづくり推進委員会において報告し、機能強化の参考とする。